

町合同金婚式を開催 結婚50年を祝う



夫婦でお祝の杯を受けました

結婚50周年を迎えた夫婦を祝う合同金婚式が、11月19日(火)に行われ、対象16組中11組22人と一人金婚者14人の計36人が出席しました。

式典では、社会福祉協議会会長が「みなさんは戦後間もない時期に結婚され、苦しい時代を乗り越えて来られた方々です。これからも長生きして頑張ってください。」とあいさつし、代表者がお祝の杯を受けました。その後、出席者に金婚の祝詞と記念品の贈呈があり、金婚者を代表して柏原区の小田満さんが「本日は、大変立派なお祝をさせていただきありがとうございます。これからも体に気をつけて頑張っていきたい。」とお礼の言葉を述べられました。また祝儀の舞も披露され、末永い幸福と健康を祝いました。

交通事故抑止決起集会 死亡事故0を目指して

交通死亡事故抑止町民総決起集会が、11月21日(木)宮之城町文化センターで開催されました。宮之城警察署管内の事業所や各団体、町民など約500人余りが参加しました。大会では、宮之城町長、宮之城警察署長のあいさつの後、鹿児島県警察本部交通企画課長の精松秀久氏の「今後の交通事故防止対策のあり方について」という講演があり、「事故をなくすには、お互い思いやりを持って、ゆずりあいの心が大切です。」と話しました。最後に、交通安全パレードの出発式が行われ、大会が終了しました。



交通安全パレードを行う参加者

鶴田郵便局 赤バイク消防隊を結成



出発式の様子

鶴田郵便局の赤バイク消防隊出発式が、11月11日(月)鶴田郵便局で行われました。赤バイク消防隊とは、町内を毎日くまなく走り回る郵便局の機動車(バイク、軽四輪車)の機動性を活かし、万一の火災に遭遇した際、バイク等備えつけの消火器で、初期消火に役立てることを目的としています。出発式では、鶴田郵便局の小田憲好さんが「地域の高齢化、一人住まいの方々が増加する中で、私たち郵便局の機動車を活用した地域貢献のため消火器を携帯し、皆様に安心をお届けします。」とあいさつされました。

市町村合併説明会 各校区を対象に実施



真剣に説明を聞く参加者

市町村合併に係る住民説明会が11月11日(月)から18日(月)にかけて校区単位で開催されました。

今回の説明会は、10月15日に発足した薩摩東部地区任意合併協議会の設置までの経緯や今後のスケジュール等について、町民の皆様へ情報を提供し、合併推進の理解を高めていただくため開催されました。

説明後の意見交換では、祁答院町や入来町の状況等についての質問や、一部事務組合や農協、森林組合など、これまでのつながりから4町若しくは5町での合併に向けて今後も3町が一体となって頑張っしてほしいなどの意見が多く出されました。

小・中学校仲よし音楽会 上手に演奏できました

町内小・中学校の仲よし音楽会が、11月20日(水)中央公民館ホールで開催されました。鶴田小学校1年生の合唱「飛べないホタル」に始まり、それぞれ小・中学生による合唱や合奏が披露されました。さらに、職員の合唱や全体合唱もあり、音楽に合わせてホール全体に響く声で伸び伸びと歌っていました。

また、県総合教育センターの田中真一郎先生を講師に迎え、アコーディオンを使って、声の出し方など楽しく指導を受けました。先生は、「歌が上手くなるには、まず歌が好きであること。そして大きな声で歌うことが大切です。」と話していました。



元気に合唱する児童

鶴田剣道スポーツ少年団 低学年の部で優勝



出場した児童

鶴田剣道スポーツ少年団が、11月10日(日)宮之城農業高校で開催されたさつま農協旗剣道大会の団体低学年の部(鶴田小3人、柏原小2人で構成)で優勝し、個人5年生の部で鶴田小の萩木場秀水君が準優勝という成績をおさめました。

また、11月23日(土)薩摩町のB&Gで開催された西郷菊次郎顕彰剣道大会では、萩木場君が同じく個人5年生の部で29人参加したなか、優勝という輝かしい成績をおさめたのをはじめ、ほかの団員も上位に食い込むなど活躍しました。